

令和7年度 シラバス

科目		単位数	学年				
家庭基礎		2	1				
教科書番号・教科書名			副教材				
家基705 家庭基礎 気づく力築く未来			「2025 最新 生活ハンドブック 家庭 資料&成分表」 第一学習社				
学習の目標		・人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭、衣食住、消費や環境など、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身につけるようにする。 ・家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定、解決策を構想・実践、考察するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。 ・様々な人と協働し、地域社会に参画するとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。					
評価の方法		①知識・技能 生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けている。【定期考査・ワークシート】	② 思考・判断・表現 生活の中から問題を見いだして課題を設定し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて倫理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身に付けている。【定期考査・発表・振り返りシート・レポート】	③ 主体的に学習に取り組む態度 課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。【振り返りシート・レポート】			
学習計画及び評価方法							
学期	月	単元名	項目	学習活動と評価のポイント	①	②	③
第1学期	4	第1章 これからの人生について考えてみよう	1 自分の未来予想図を描こう～生涯発達と発達課題～ 2 これからの人生をデザインする	・ライフステージにおける発達課題について理解し、自分や人の一生について考えをまとめようとしている。 ・社会的背景を踏まえ、生涯にわたる生活設計を具体的に描こうとしている。	○	○ ○	○
	5	第2章 自分らしい生き方と家族	1 自立と共生 2 ライフキャリア 3 共に生きる家族 4 家族に関する法律	・自立や男女共同参画社会など現在の社会状況について理解しようとしている。 ・労働の意義を多面的に検討し、生活における時間の使い方や課題を見いだそうとしている。 ・家族・家庭の役割や多様化を理解し、図表などから変化してきた家族・家庭の役割について自らの考えを深め、表現しようとしている。 ・家族に関する法律を理解し、自分との関わりについて関心を持とうとしている。	○ ○ ○	○ ○	○ ○
		6	第3章 子どもとかわわる	1 子どもとは 2 子どもの発達 3 子どもの生活 4 子どもをはぐくむ 5 子どものための社会福祉	・生命の尊さについて青年期や自分の将来と結びつけて学習しようとしている。 ・子どもの心身の発達や子どもの生活を理解し、子どもを取り巻く環境について課題を見つけ、解決への考えをまとめようとしている。 ・赤ちゃんとかふれあう体験学習に積極的に参加し、準備、実施、考察、反省までをレポートにまとめ、親の役割を自分なりに表現しようとしている。	○ ○ ○	○ ○ ○
	7	第4章 高齢者とかわわる	1 高齢社会に生きる 2 高齢者を知る 3 高齢者の自立を支える 4 高齢社会を支えるしくみ	・高齢社会の現状と課題について理解しようとし、課題解決に向けて考えをまとめようとしている。 ・高齢者の心身の特徴を理解し、高齢者の自立した生活について考えをまとめ、積極的に高齢者とかわわろうとしている。 ・高齢者の生活を支えるしくみや地域福祉の重要性について理解しようとしている。	○ ○ ○	○ ○	
		8		学校家庭クラブ活動 ホームプロジェクト(夏休み課題)	・自らの生活を振り返り、課題を見つけ、具体的な解決方法を考え、実践しようとしている。		○
第2学期	9	第5章 社会とかわわる	ホームプロジェクト発表 1 支えあって生きる 2 共生社会を生きる	・自分のホームプロジェクトをまとめ、ICTを活用した発表で論理的に表現しようとしている。 ・支え合う社会を主体的に考え、社会福祉を理解し、地域福祉について考えをまとめようとしている。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○
	10	第6章 食生活をつくる	1 日本の食文化の形成 2 私たちの食生活 3 栄養と食生活のかかわり 4 食品の選び方と安全 5 食事の計画と調理 6 これからの食生活を考える	・日本の食文化の成り立ちや特徴、食事の意義や役割、食生活をとりまく環境を理解し、自分自身の食生活の課題解決のために改善方法を思考し、解決しようとしている。 ・栄養・食品に関する知識や調理の技術を積極的に身につけて、実際の生活に生かそうとしている。 ・食中毒の予防法や食品添加物等の正しい知識を身に付けようとしている。	○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○
		11	第7章 衣生活をつくる	1 人と衣服のかかわり方 2 衣服の素材の種類と特徴 3 衣服の選択から管理まで 4 持続可能な衣生活をつくる 5 衣服の構造とデザイン	・衣服の素材の種類や特徴、衣服材料の性能と特徴、衣服整理について知識を身につけることによって、適切に選択し、管理しようとしている。 ・不要となった衣類について環境に配慮した衣生活を自らの生活で実践しようとしている。	○ ○ ○	○ ○
	12	第8章 住生活をつくる	1 人間と住まい 2 住まいの文化 3 住まいを計画する 4 健康に配慮した快適な室内環境 5 安全な住まいづくり	・気候風土と住まいの関係や住まいの役割・機能について理解し、ライフステージに応じた住まいについて考えようとしている。 ・室内環境と健康のかかわりを理解し、日照・採光・通風・換気・冷暖房など健康的な住まい環境を理解しようとしている。 ・災害情報の入手方法や地域の安全への備えの重要性を理解し、暮らしやすい住まいの環境を調べ、表現しようとしている。	○ ○ ○	○ ○	○ ○
		1	第9章 消費行動を考える	1 消費行動と意思決定 2 消費生活の現状と課題 3 消費生活の権利と責任 4 ライフスタイルと環境	・消費行動について事例を通して主体的に考え判断しようとしている。 ・多様化する販売方法や支払い方法について問題点や解決策を考え、判断しようとしている。 ・消費者の権利と責任について理解し、自主的な行動について意欲的に考えようとしている。 ・生活と資源・環境の関係を理解し、消費行動と環境について生活と関連させながら課題を見つけ、解決の方向性を判断しようとしている。		○ ○ ○ ○
第3学期	2	第10章 経済的に自立する	1 暮らしと経済 2 将来のライフプランニング	・家庭経済・国民経済などのしくみについて理解し、自分の経済的自立を考えながら、短期・長期的経済計画の重要性を理解したうえで、意欲的に取り組もうとしている。	○ ○ ○	○ ○	○ ○
	3		生活設計	・これまでの学習を生かし、自立に向けて自らの人生を考え、設計しようとしている。		○	